

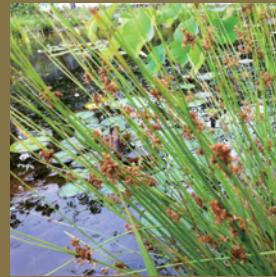
向陽小学校のビオトープを考える会

ビオ Bio 通信



熊 蟬

くらし



関西で一番身近なセミのクマゼミ。大きくて黒いクマのようなセミだから「熊蟬」。なんだか頼もしい名前です。暑い夏の朝、早くからシャンシャンシャンと大音量で合唱する、とても身近なセミですが、くらしはあまり知られていません。

なぜなのでしょう…

幼虫時代に何年も土の中で過ごすことはよく知られています。クマゼミの場合、5年とも7年ともいわれています。また、夏にあんなにたくさん成虫がいるのに卵を目にすることはあまりありません。どこに卵を産むのでしょうか。

雌は産卵管を枯れている枝や木などに差し込み、ひとつの穴に十数個、全体で300個以上産みつけます。夏に産みつけられた卵は翌年の梅雨ごろ孵り、幼虫となり木から地中に潜ります。実に1年ほど卵でくらすのです。となると、一年中枯れ枝を探せばセミの卵は見つけられるはずですよ。

そして幼虫時代は地中で他のセミ同様、木の根から樹液をとり脱皮を繰り返して育ちます。

最後の脱皮は…「羽化」晴れた日の夕方、地上に現れ、他のセミより高い所にのぼり日没後に羽化、夜明とも

- P.2 向田山のカブトムシ
ビオトープで田植え
カブトムシのすみか
- P.3 緑のカーテン設置
プールの利用者
鎮守の森から・元稲荷古墳
- P.4 いきなりクイ〜ズ
お知らせ
 - ・流しそうめんとふらトンボと絵とうろう
 - ・夜の映画鑑賞会
 - ・行こうよう！秋まつり2012

パート2

フラトンボ贈呈式
お庭の生きもの調査
編集後記

クマゼミの産卵

熊 蟬

さて、クマゼミのくらし、なぜあまり知られないのか…

「成長がゆっくりだからだ」と思っています。

今年生まれるクマゼミ、8年後にどんな風景を見るのでしょうか。

に飛び立ってゆきます。成虫になると命が尽きるまで2週間から1ヶ月、次の世代にバトンを渡すのです。

※ 参考図書：大阪市立自然史博物館編集 著「鳴く虫セクション」、日高敏隆 著「セミたちと温暖化」

小学校のおとなりさん

向日山のカブトムシ

文・写真

向陽小学校のビオトープを考える会

神松幸弘



カブトムシの成虫



カブトムシの幼虫

夏休みです！昆虫採集をしようと思っっている人もいます。今回は、みなさんもよく知っているカブトムシの話です。カブトムシは、クヌギやコナラ、クリなどの木によくいます。カブトムシの成虫は、木の幹から出てくる

樹液(木の汁)を吸います。樹液は、木の幹にキズがつくと出てきます。ところが、カブトムシは自分で木にキズをつけることができません。カブトムシの好きな木には、ボクトウガというガの幼虫がいることがありま

す。この昆虫が木に潜り込んで、木の幹にキズをつけると樹液が出てきます。そのおかげでカブトムシは、樹液を吸うことができるのです。さて、カブトムシの幼虫のすみかはどこでしょう？ 答えは、地面の下。落ち葉

が腐ってできた、ふかふかした土の中です。昔の人は、畑にまく肥料にするために落ち葉を集めて堆肥を作りました。また、薪や炭などの燃料をとるためにクヌギやコナラを育ててきました。そのおかげで、幼虫にも成虫にもカブトムシのくらしやすい場所がたくさんありました。人々が農業や生活のために利用してきた山や森のことを「里山」といいます。カブトムシは里山の代表的な昆虫です。向陽小学校の裏の向日山には、カブトムシがい

ます。あちこちに落ち葉が集められ、幼虫が育つのにちょうどいい場所がたくさんあります。それは、「鎮守の森の会」の人たちが山の手入れをしているためです。鎮守の森の自然を守ろうと、一年を通じて、下草を刈ったり、落ち葉や枯れ木を集めたりしています。その

おかげで、カブトムシたちのすみかも守られています。今では、向日市内でカブトムシがくらせる場所は本当に珍しくなりました。それなのに、みなさんの学校のすぐ近くにカブトムシがいるなんてステキだと思いませんか？

いつまでもカブトムシが向日山でくらせるようにするには、どうしたらいいでしょう？

いい考えがうかんだら、僕にも教えて下さい。

こっそり見てね★
カブトムシのすみか

3年生担任の先生方とPTAで校内で生態観察ができるように、今は使われていないウサギ小屋に幼虫のすみかを作りました。向日山のカブトムシを10頭ほど育てています。夏は羽化のシーズン、蛹のカブトムシはとてもデリケートです。そろーっと大切に見守りましょう。

「玉井」
「玉井」
「玉井」

始まった、5年生の米づくり学習 ビオトープで田植え

今年フレンズランドの田んぼは、5年生の米づくり学習の場。保護者であり会のメンバーでもある巖嶋さんから指導と苗と肥料の提供という全面協力をいただき、6月初旬、乙訓地方の田植えの時期にならい、いよいよ5年生



5年生の田植え風景・とてもていねい！



巖嶋さんから田植えの解説



すみか気に入ってほしいな…



大切に・大切に…

向陽小学校PTAの取り組み

緑のカーテンの設置

中校舎ランチルーム前にゴーヤーの苗を使った緑のカーテン作りが進められています。5・6年生児童の環境委員が中心となり、水やりなどの世話をしています。この緑のカーテンのネットと苗のポットは麻製で土に帰る自然素材です。また、培養土は下水汚泥から作った炭を原料にしています。

さらにネットを張る枠には、向日市特産の竹を使ったちよっとこだわ



麻袋に培養土を入れる



積水ハウスさんの環境学習



現在育成中・・・



PTAと職員さん作
ネット完成



ゴーヤーのお世話は・・・



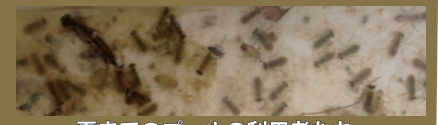
苗の植え替え完了！

※この取り組みは環境省のグリーンカーテン2012の一環として、ほとんどの資材を以下企業・個人より無償提供いただいています
【ネット・ポット・苗】積水ハウス 【培養土】 京都環境保全公社 【竹の支柱】 巖嶋さん

りのカーテンです。本格的に暑くなるころには立派なカーテンになるといいですね。
(神松)



最高学年、チームワークバッチリ☆



夏までのプールの利用者たち

掃除でわかった！
プールの利用者

5月31日に6年生と先生、PTAの皆さんで毎年恒例のプール掃除が行われました。昨年、秋風とともに人気がなくなったプールには、他の利用者がいるのです。掃除前のプールには、シヨウジウトンボ、ギンヤンマにシオカラトンボ、よく見るとトンボだけじゃないマツモムシにアメンボも、密かに命をつないでいたのです。

これからの暑い夏の間、プールの利用者は私たちがヒトに交代です。(玉井)

鎮守の森から

第4話 元稻荷古墳

古墳時代は水田を大規模に開拓した時代で、功績のあったリーダーは古墳に祀られて神様になりました。いつの時代でも神様があり、祭りがありましたが、向日神社のある向日山でも古墳時代になって新しい神様が生まれ、新しい祭りがはじまりました。勝山公園にある元稻荷古墳は、1700年ほど前に造られた

京都盆地で最も古いといわれている古墳で、前方後方墳という前も後ろも四角の古墳です。

鎮守の森は本来よく手入れされた明るい森で、里山と同じように薪の供給地でした。薪がいらなくなり、手入れされなくなって暗い森になりました。

鎮守の森の会が竹や木を伐って向日神社の森は甦りました。元稻荷古墳にも痴漢注意の看板があり、近寄りにくい場所でしたが、今では多くの市民に知られ、観光スポットにもなっています。



暗くて近寄りにくかった以前の勝山公園



明るく手入れされた現在の勝山公園

文/写真 鎮守の森の会
上田 昌弘

8月4日は
向日山から楽しくって
出られな〜い(〇〇)!

いきなりクイ〜ズ



*写真協力：近畿ピオトープ管理士会
会長・池口直樹さん

いつまでも向日山でカブトムシが
暮らせるにはどうしたらよいと
思いますか？

☆ヒント

・文章や絵で答えてね。本紙2ページを読んで
みなさんの考えを教えてください。

(例：森から生きものや土や木を持ち出さない...)

◎応募について *次の号でみなさんの考えを紹介しませうね☆

名前、学年、連絡先と4号 / アイデアを紙に書き(書式
自由)職員室前「フレンズランドポスト」へ投函してくだ
さい。回答者の中から3名に鎮守の森の会上田雅二さん特製
「フラトンボ」をプレゼント! 応募してね♡

当選発表

3号・5月の答え >>> アリ

応募数：17名

当選者：4年 相生 さほさん 4年 つき坂 元さん
2年 井上 笙さん

ふらトンボ 贈呈式♡



6月19日に第2号の「いきなりクイ〜ズ」
当選者3名に、フラトンボの贈呈式を校長室
で行いました。提供者の上田雅二さんから手
渡されてニッコリ!

みんなで生物多様性調査

〜いちばん身近な空間に目を向けてみよう!

「お庭の生きもの調査」

創刊号で紹介した「いきものみつけ」は地域の調査でした。

今回はもっと暮らしに近い「お庭(マンション団地などのベラ
ンダ、バルコニーも含む)」にいる生きものについて調べる、
2010年から始まった全国規模の調査です。

夏休みの自由研究にも使えるかも♡♡

身近な生きものを感じて暮らすって素晴らしい...

〒189-0013 東京都東村山市栄町 2-28-5 小河原ビル 3F

NPO 法人 生態教育センター 事務局

TEL : 042-390-0032 FAX : 042-390-1237

ホームページ >>> <http://www.wildlife.ne.jp/ikimono>

メール >>> ikimono@wildlife.ne.jp

お庭の 生きもの調査

Garden Wild Life Watch 2012

《参加のしかた》

① 参加登録 — 登録をする3つの方法

- ・WEB上でオンライン登録
- ・登録用紙をダウンロードして郵送またはFAXで登録
- ・事務局に登録用紙を請求し郵送・FAXで登録

② 調査内容

2012年度の調査は5〜8月の期間に「お庭」で見られる
生きものを報告するというもので、現在も受付中です。
調査方法は、対象種に○をつけるだけの「初心者コース」
と、お庭にやってくる野鳥や昆虫を定期的に報告する
「調査員コース」があります。

詳しくは、WEBもしくは事務局から情報を手に入れよう!

編集後記

今年初めてセミの声に気づいたのは7月8日、
いよいよ暑い季節だなと感じました。向日市あたり
でセミといえば、ニイゼミから始まり、夏本番になるとクマ
ゼミとアブラゼミ、少し暑い盛りを過ぎるとツクツクボウシが現れ、秋風を
感じるようになる... 夏の生活の中にセミの声があるからそんな季節感がある
のでしょうか。子ども達と一緒に、「セミの声」を意識した過ごし方も楽しい
かもしれません。

さて、Bio通信では身近な生きものばかりに焦点を当てています。
そのワケは... 指先ひとつで好奇心も感動も手に入る時代です。

ふだんの暮らしが色あせて感じ、人の関心や憧れも暮らしから遠の
いてしまっているのではないのでしょうか。そんな時代だから、身近
な生きものの面白さや不思議さに目を向けてもらい、総天然色の豊
かな暮らしがもどるといいな。と思っています。生き
ものが旺盛な季節です。
大人も子どもも、身近な自然に少し想いを寄せてみて
はいかがでしょうか。

☆Bio通信に関するお問合わせ、ご意見ご感想
などございましたらフレンズランドポストへ
お寄せください。
発行 向陽小学校のピオトープを考える会
HP : <http://koharusya.jp/biotope>
2012.07 編集 / 玉井啓子

お知らせ

なが 流しそめん と ふらトンボづくり と 絵とうろうづくり

「7.67 絆素麺会」

日時：平成24年8月4日(土) 雨天中止・小雨決行
受付/11時45分〜 実施時間/正午〜午後2時

場所：向日神社参道と境内

主催：まちづくり市民の会

*向日神社の参道の坂で流しそめん大会(無料)

同時開催・ふらトンボづくり(キット代500円)が境内でできる!

- ・絵とうろうづくり(参加費100円)9月29日の
「明神さんのお月見」で作った絵とうろうが参道に並び
- ・ふれてみよう! わがまちの歴史!
- 長岡京時代の土器に触れ歴史をかんじてみよう

よるの映画鑑賞会

映画：「ペンギンズ」

日時：平成24年8月4日(土) 18時〜20時

場所：向陽小学校体育館

主催：PTA とうよう応援隊

*夜の学校で映画をみながら夕涼み

行こうよう! 秋まつり2012

親子のつどい

日時：平成24年9月8日(土) 17時〜19時

場所：向陽小学校体育館と新校舎

主催：向陽小学校PTA

*ワクワクドキドキ☆遊びのコーナー盛りだくさんのおまつり

向陽小学校のピオトープを考える会も

鳴く虫のひみつとメダカの築校展示をしまーす

遊びに来てね☆